

Nobuko Imai

Program

モーツァルト Mozart

弦楽五重奏曲第2番 ハ短調 K.406
String Quintet No. 2 in C Minor, K. 406

ラヴェル Ravel

弦楽四重奏曲 ヘ長調
String Quartet in F Major

ドヴォルザーク Dvořák

弦楽五重奏曲第3番 変ホ長調 Op.97, B.180
String Quintet No. 3 in E-Flat Major, Op. 97, B. 180

Nobuko Imai Concert Series

今井信子・夢

第7回 弦楽五重奏

ヴィオラ：今井信子
Nobuko Imai, Viola

アマリリス弦楽四重奏団
Amaryllis String Quartet

2019 9.25 (水) 19:00開演 浜離宮朝日ホール

Wednesday, 25 September, 2019, 7p.m. at Hamarikyu Asahi Hall

入場料：全指定席 ¥6,000

チケットご予約

◎朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990 (日・祝除く10:00~18:00) ◎イープラス <http://eplus.jp/> <PC & 携帯>

◎チケットぴあ 0570-02-9999 (音声自動応答・Pコード:149-474) <http://t.pia.jp/> <PC & 携帯>

◎ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応10:00~20:00) <http://l-tike.com/> <PC & 携帯>

主催：AMATI / 朝日新聞社

後援：ゲーテ・インスティテュート



お問合せ：AMATI Tel.03-3560-3010 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-S201 <http://www.amati-tokyo.com>



第7回 弦楽五重奏

アマリリス弦楽四重奏団とは2017年に初めてスイスとドイツで共演しました。若いひとたちのクアルテットということでのどのような演奏をするのか興味深々でしたが、共演してみたら彼らが非常に真摯に真正面から弦楽四重奏に取り組んでいる事が判り、とても好感を持ちました。現在ドイツには彼らと同じ世代のクアルテットが無数にあり、そのなかで頭角を現してゆくのは並大抵のことでありません。ヤナーチェクやバルトークなど個性的なレパートリーで道を切り拓いてゆくクアルテットもいますが、アマリリス弦楽四重奏団はベートーヴェンやブラームスなどいわば弦楽四重奏曲の古典ともいえる作品をレパートリーの中心に据えています。

徹底的に話し合いを重ねながらリハーサルを行い、本番では個人が生き生きと自由に演奏する一私を知っている昔ながらのクアルテットの姿が彼らに重なりました。今とどんとベテランのクアルテットが引退してゆくなかで、彼らには是非頑張ってその伝統を引き継いでいってほしいと思っています。

最初に演奏するモーツァルトの弦楽五重奏曲はもともと管楽器のために書かれた作品ですが、作品の持つ短調の暗い響きがヴィオラにとっても合っていると思います。そして2曲目にアマリリス弦楽四重奏団が選んだラヴェルの弦楽四重奏曲は前後の五重奏とは全く異なる響きを持った作品で、彼らの個性、そして緊密なアンサンブルを堪能する事の出来るとても心憎い選択です。そして弦楽五重奏というブラームスを演奏する機会が圧倒的に多いので、今回はドヴォルザークを選びました。私がこの作品を初めて弾いたのはマルボロ音楽祭に参加したときで、若き日のキム・カシカシャンが第二ヴィオラでした。この作品でアメリカをツアーするなど、思い出の沢山ある作品です。この作品を久しぶりに、しかも次代を担うアマリリス弦楽四重奏団の皆さんと演奏出来る事を楽しみにしています。

今井信子

今井 信子 (ヴィオラ) Nobuko Imai, Viola

桐朋学園大学卒業、イェール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクールで最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。

ベルリン・フィル定期や小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラとのザルツブルク音楽祭出演など、世界の舞台で活躍を続けている。武満徹のヴィオラ協奏曲〈ア・ストリング・アラウンド・オートム〉など世界初演も多い。室内楽ではアルグリッチ、シフ、クレーメル、五嶋みどり、マイスキーらと共演。マルボロ、ラヴィニア、ヴェルビエ等の国際音楽祭にも度々招かれている。2003年ミケランジェロ弦楽四重奏団結成。

日本ではカザルスホールの音楽アドバイザーを務めたほか、92年からは〈ヴィオラスペース〉の企画・演奏に携わっている。また東京、ロンドン、ニューヨークで開催された「インターナショナル・ヒンデミット・ヴィオラ・フェスティバル」音楽監督、武生国際音楽祭音楽アドバイザー、東京国際ヴィオラコンクール審査委員長など、常にヴィオラ界をリードする存在として、活躍を続けている。

CDはフィリップス、BIS、グラモフォン等からリリース多数。著書に「憧れ ヴィオラとともに」(春秋社)がある。アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院各教授。上野学園大学特任教授。ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。



©Marco Borggreve

アマリリス弦楽四重奏団 Amaryllis String Quartet

「若々しい感性と知性に裏打ちされた自由さ」(バーディッシュ新報)、「驚異的なテクニック」(南ドイツ新聞)などアマリリス弦楽四重奏団は同世代を代表する弦楽四重奏団として聴衆、批評家から高い評価を得ている。ヴァルター・レヴィン、アルバンベルク弦楽四重奏団およびギンター・ピヒラーに師事。2011年第6回メルボルン国際室内楽コンクール(オーストラリア)優勝。2012年ユルゲン・ポント財団室内楽賞受賞。これまでに楽友協会ホール(ウィーン)、コンツェルトハウス(ベルリン)、ウィグモアホール(ロンドン)等に出演、またシュレスビヒ=ホルシュタイン、ラインガウ、ルツェルン等の国際音楽祭にも度々客演している。2011年にCD「ホワイト」をリリース。同作は2012年にドイツのエコー・クラシック最優秀室内楽録音賞を受賞し、のちに高い評価を得る事になる「カラー・シリーズ」の第一弾となった。最新盤は「イエロー」。



浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞東京本社・新館2階
TEL 03-5541-8710

アクセス

- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
- 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1,2番出口)より徒歩約8分
- 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線
都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
- 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)
新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
- 「新橋駅」JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1,2番出口)
都営浅草線(改札口)より徒歩約15分

次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい。

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。③演奏中は入場できません。④未就学児の同伴はご遠慮下さい。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

◆就学前のお子様のご入場はご遠慮いただいております。託児サービスをご利用ください。
イベント託児・マザーズ(要予約) 0120-788-222